

2014年 5月

17日(土) 19:00

18日(日) 16:00

パフォーマンスシリーズ

萩原雄太 × カンノケント
中村達哉 × 雪片

久世龍五郎 × 辻元亜紀
蒼浩人 × 新村隆慶

あいだに在る

あいだに在る

他者と私、個人の生活と社会、皮膚の内側と外側など、様々な状態のあいだに在るものはないか。隔たり、融和、無関心、中道なグレーの領域。身体、書、音などを素材とし、この「場」から知覚してみる。

17日(土) 『ふたりのビッグ対談』 萩原雄太×カンノケント

それは、「それ」としか言えないようなものである。演劇でもない、音楽でもない。その両方でもない。でも、演劇であり、音楽である。その両方でもある。演じることもなく演じ、奏することもなく奏でる。それらの間にあり、間に収まることはない。萩原雄太は演劇に飽きている。カンノケントは音楽に飽きている。しかし、萩原は演劇を欲しているし、ケントもまた音楽を欲している。だから、「それ」をするのだ。

萩原雄太 Hagiwara Yuta

1983年生まれ。劇作家・演出家。2007年、かもめマシーンを旗揚げ。主な作品に、愛知県文化振興事業団が主催するAAF戯曲賞を受賞した『パブリックイメーヅリミテッド』、福島県双葉郡の路上で上演した『福島でゴドを待ちながら』など。

カンノケント Kanno Kento

音楽業界に生きている。つもりだが、なにやら変わった流れの中にいる。楽曲を書くことや録音製作など、しているうちに、楽器を演奏する事から、離れつつある。正直、離れている。離れたい。いつも誰かと舞台に立つ。近年の共演者に振りびじん、入手杏奈、手塚夏子、など。

<http://kannokento.com/>

18日(日) 『そこに在る』 辻元亜紀×久世龍五郎

身体と音、音と書、書と身体、身体と身体の「間」にある空間を丁寧に満たしたい。

辻元亜紀 Tsujimoto Aki

幼い頃から書を愛し、書を通じた命の交わりに力を注ぐ。近年は、舞踏の素晴らしさに触れ、大野一雄舞踏研究所の大野慶人に師事。書と舞踏を織り交ぜた舞台作品でも活躍。

久世龍五郎 Kuze Ryugoro

「久世 龍五郎 and circustik orchestra」主宰。舞踏を大野慶人に師事。クラシックバレエを宮崎嘉子に師事。自作の音楽と衣装を取り入れた、総合的な舞台空間の創造に尽力している。

『エミリー・ディキンソンあるいは向日葵』 中村達哉×雪片

一枚のひまわりのペン画。その朽ちながら天を希求する様と、詩人エミリー・ディキンソンの鋭利な言語世界に共通の垂直性をみる。大野一雄舞踏研究所から始まり、その後、身体への違うアプローチを試みてきた二人が、これらを素に、立つことから始めてみる。

中村達哉 Nakamura Tatsuya

1998年より現在まで、ダンスカンパニー「イデビアン・クルー」に参加。パフォーマンスシアター「水と油」の作品や、山下残の作品などに出演。2013年自作のソロ作品「そこから眺める」を発表。近年はワークショップや集団創作も行っている。

雪片 Seppen

演劇活動から始まり、大野一雄舞踏研究所にて学ぶ。アルト一館にて多方面からのダンスの視点を学ぶ。介護職に従事しつつ、高齢者対象の体操教室を行う。多様な身体の在り方、可能性を模索している。

『異邦人』 蒼 浩人×新村隆慶

踊りとヴァイオリン演奏。躍動する身体と湧き上がる感情、音、色彩、イメージ。その場のエネルギーと交わり、飾り合い、ぶつかり合い、唯一無二の空間を創り出したい。

蒼 浩人 Sou Hiroto

樹功を元に 体を通路とした踊りの叙情詩。体が生み出す空間に、豊かなひとときを奏でたい。
<http://odorite-mau.parallel.jp/>

新村隆慶 Niimura Takanori

ヴァイオリン演奏と、主にアクリル絵の具を使った絵画で自身の世界観を表現。「祈り」「命のつながり」をテーマとして、形式やジャンルを限定せず、内面世界と外部環境を結ぶような創作を目指している。

2014年 5月 (両日共に30分前から開場)
17日(土) 19:00 18日(日) 16:00

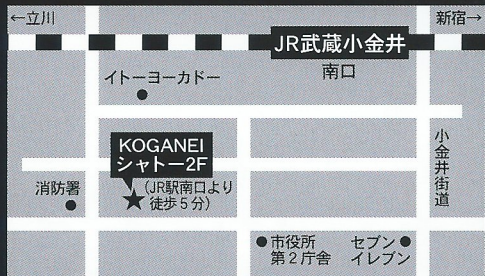
◆ チケット ◆

1日 / 2000円 (1日2パフォーマンス)
2日間通し / 3500円 (2日間4パフォーマンス)

◆ 予約・問い合わせ ◆

TEL / 070-5456-5054(中村)
メール / aidaniaru@willcom.com

宣伝美術◆アピコノコ 企画制作◆中村由希・水脈



会場 ◆ KOGANEI ART SPOT シャッター2F
東京都小金井市本町6-5-3 シャッター小金井2階
<http://www.chateau2f.com/index.php>